

0. まずは市長給与3割カットから。市長専用車も廃止。

聖域なきムダのカット。コネ人事・コネ採用の根絶。

★市長給与3割カット（年間約500万円もの節約）。市長交際費も削減し、支払先を公開。

★外部専門委員・市民委員による外部行政評価・事業仕分け等でムダを削ります（聖域なし）

★過去の不正を市長に直接メールできる体制構築、予算編成過程公開と市民意見募集。

1. 新川計画（総額85億円）などムダの大幅見直し

●農業交流センターと道の駅を結ぶ3.4億円の歩行者専用橋は歩道のある橋のすぐそばでムダ。浮いた財源は平戸橋・宮内橋などの老朽化・自転車対策に。

●農業交流センター＆道の駅の委託方法の抜本的見直しで、市税負担を大幅削減。他方で、メールサービスなどソフト面の支援は充実。地産池消も推進。

●公共施設使用料に関する近隣市との相互利用協定の締結（相互に市民料金で）

●（仮称）地域コミュニティセンター建設構想の一部中止と見直し

2. 八千代の夏を取り戻す！：学校プールだけではムリ

●四角い学校プールだけでは、暑い夏を乗り切るのはムリ。流れるプールもある屋外市民プールを復活させます。（それまでは市外のプール利用者に助成金）

●花火大会がなくなったら、ますます若い世代の定着率は低くなる。花火大会を復活させて、八千代の夏を取り戻しましょう。

3. 子育て支援策の飛躍的充実

★こども医療費助成（通院分と調剤費）を小3までから中学校卒業まで拡大！

★認可保育園等の増設で待機児童をゼロに。駅前託児所利用者の支援も。

★24時間365日無休の小児夜間救急の維持と充実、耳鼻咽喉科の充実

★小中学校のトイレの抜本的改修・全面交換を含む老朽化対策

★保育園・学校の給食食材や農家の農産物等の測定用に放射能検査器を導入。

4. 図書サービスはこうすればずっとよくなる

★図書館以外の公共施設での本の貸し出し・返却の実現

★図書館空白区域中心にブックポストの設置。電子書籍の大量導入。

★大和田など京成沿線3図書館の存続・充実（複合施設化も視野に）

★商店街や団地内の空き店舗を活用して図書館分室に。読書室も作って若者の居場所に。

5. 若者の意見を聴く自治体に

▲市民公募で若者枠の設定。審議会や議会の傍聴席に招待。会議後に意見を聴いて採用していく。

▲若者世代への無作為アンケートの実施（八千代に定住するための条件を尋ねる）

▲無作為抽出含む市民で市民討議会設置。新しい提案が出やすいワークショップや公聴会の実施。

新川計画から子育て・教育へ

秋葉就一は

借金財政をストップし、住み続け
たいと思える八千代市に



6. やっぱり大事なこと

- ◆東葉高速通学定期券の値下げ（市単独事業も選択肢）
- ◆東葉高速の回数券の改善等で運賃負担軽減
- ◆遠方自治体との災害時相互援助協定の締結
- ◆公共施設ファシリティマネジメントの導入（老朽化した保育園・学童保育所・すべて21・公民館等への対策。複合施設化などで維持管理費節減。）
- ◆八千代医療センターで放射線治療が受けられるように
- ◆学校から体罰といじめをなくす。中高生の居場所増
- ◆谷津・里山の保全と活用。遊休農地の活用
- ◆10ℓ指定ごみ袋の価格を20ℓ用の半分に値下げ 不燃ごみ用10ℓ袋の創設
- ◆福祉タクシー券復活
- ◆認知症センター養成講座の拡充
- ◆高齢者のスポーツ施設使用料の一部を市内で使える商品券で還付することで、健康増進と商店街活性化
- ◆空き店舗を活用しての農産物販売店開設・運営に対して、市内産比率に応じて財政支援
- ◆大和田駅北口改札の時間延長
- ◆男女共同参画の推進
- ◆化学物質やアレルギー食品による健康被害防止
- ◆エネルギーの地産地消推進、自然エネルギー推進、公共施設の屋根貸しで歳入増、リース含むLEED導入
- ◆ワンストップサービス実現と、休日開庁の拡大
- ◆コミュニティバスの抜本的見直し

過去6年で実現したこと（一部を掲載）

- ◆小中学校耐震化完了予定時期の1年前倒し
- ◆防災無線内容を防災メールで配信開始
- ◆城橋脇に歩行者専用橋の架設
- ◆学童保育料の一部値下げ
- ◆市役所本庁舎にリサイクル掲示板の設置
- ◆市民税1%NPO支援制度の導入（見直しは必要）
- ◆給食食材の放射能検査（委託）の開始
- ◆歩車分離式信号の導入（ゆりのき台ほか）
- ◆10リットル指定ごみ袋の創設
- ◆市HPを携帯電話からも見られるように
- ★議員の交通費廃止、ボーナス加算の減額
- ★議案等の会派別賛否の記録化と公表（理想は議員別）